



入門ミュゼオロジー 博物館・美術館を たのしむための5つの視点

美術館、歴史資料館、科学館、植物園、動物園、水族館、、、これらはすべて博物館です
博物館は有形無形の様々な知恵(資料・情報)を、収集・保存・研究し、教育普及・展示などに活用をします
未知の事態に人類が見舞われたとき、我々は博物館でこたえを見つける事ができるかもしれません

展示を中心に、様々な立場から博物館に関わってきた方々に講師をお願いしました。
博物館を楽しみ、活用していただくために、5つの視点からお話していただきます。

第1回	プロセス	博物館の計画から開館まで 「国際博物館会議 (ICOM)」では「博物館とは、社会とその発展に貢献するため、有形、無形の人類の遺産とその環境を、教育、研究、楽しみを目的として収集、保存、調査研究、普及、展示する、公衆に開かれた非営利の常設機関である」(2007年策定)と定義しています。博物館とは何か、どんな「プロセス」で作られるのかを概観します。
9月5日(土)	草刈 清人氏 日本展示学会副会長	
第2回	スペース	展示空間・体験のデザイン デザイン思考や表現の変化も踏まえながら、デザイン領域全体から展示の空間デザインの立ち位置をひもとく。物を単純に並べることから積極的に情報を引き出す展示へと移行し、同時にそれらを包み込む空間体験もメッセージを印象づける大切な役割を持ち始めた。来場者の「主体性」や「共感性」を生み出すために、この一つ一つの展示情報とこれらをつなげる空間体験のリンクが重要。これを実現するための方法論をいくつかの事例から紹介。
9月6日(日)	稲垣 博氏 元首都大学東京教授	
第3回	コンテンツ	藤子・F・不二雄ミュージアムのコンテンツ設計とミュージアム哲学をつなげていく運営 川崎市藤子・F・不二雄ミュージアムは、「ドラえもん」で有名な藤子・F・不二雄を顕彰するまんがの美術館です。およそ150点のまんが原画をじっくりと鑑賞できる展示エリアと、楽しく遊べる館内・屋上の体験エリアの2つの構成でコンテンツ設計されたことを、経緯・工夫を含めて紹介します。また、発案から変わることのないミュージアム哲学を、未来につなげていくための運営理念を紹介します。
9月13日(日)	宮野 哲也氏 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム館長	
第4回	ユーザー	障害者を含む多様な人々に対する美術館におけるアクセシビリティとは 高齢者、障害者、外国人など、多様な人々を新しい物事を創り出すプロセスの最初から巻き込み新たな発想を生み出す「インクルーシブデザイン」。この手法を用いて、アーティストや研究者が、聴覚障害者、小さな子、視覚障害者&盲導犬、車椅子ユーザーと一緒に、視覚、聴覚、触覚、嗅覚から感じる作品を作り上げた展覧会の試みを紹介し、多様な人々に向けたアクセシビリティを皆さんと考えます。
9月21日(月・祝)	藤川 悠氏 茅ヶ崎市美術館学芸員	
第5回	フューチャー	博物館の未来と3Cs = Collection Context Communication 展示は見てわからない。その理由を3Csで紐解きます。国立科学博物館で担当した『間違いだらけの科学館』の展示を例に博物館の定義に潜んだポイント『展示とコミュニケーション』について意見交換を試みます。昨年京都での世界博物館会議での『博物館定義 見通しと可能性=MDPP MUSEUM DEFINITION, PROSPECTS AND POTENTIALS』を紹介しつつ、新常态時代の博物館コミュニケーションについて皆さんからヒントを期待しています。
9月27日(日)	廣澤 公太郎氏 多摩六都科学館統括マネージャー	

日時: 9/5(土)、6(日)、13(日)、21(月・祝)、27(日) 14:00~16:00(全5回)

※9月開始に変更になりました。

※天候や社会情勢および、そのほかの不可抗力により事業が予期せず延期・中止になる場合がございます。

対象: どなたでも(市内在住・在勤・在学者優先)

定員: 30人予定(定員を超えた場合は抽選/最小催行人数15人)

会場: 大和市渋谷学習センター2F 多目的ホール

費用: 2,000円(学生1,000円 学生証提示) ※5回分の金額です。分割の支払いや返金はできません。初回にお支払いいただきます。

持ち物: 筆記用具、マスク

申込: ハガキに次の①~⑥を記載し、8/12(水)必着で、渋谷学習センターまで郵送。

ハガキ1枚につき1人の申込み。

- ①講座名(「9月開催入門ミュゼオロジー」)とお書きください
- ②氏名(ふりがな) ③住所(大和市在勤・在学者はその旨も)
- ④電話番号 ⑤年齢(年代で可)
- ⑥学生の場合は学校名と学年

主催: やまとみらい (大和市渋谷学習センター 指定管理者)

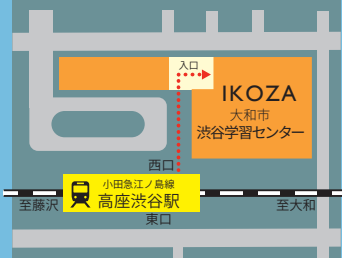
《申込・問い合わせ》

大和市渋谷学習センター

☎046-267-2027

〒242-0023

大和市渋谷5-22 IKOZA 3F



《アクセス》

小田急江ノ島線 高座渋谷駅下車
西口より徒歩2分

渋谷学習センターの専用駐車場はありません
なるべく公共交通機関をご利用ください
(IKOZAビルの駐車場は有料です)